

豊郷地区 地域ビジョン

豊郷地区のスローガン

～健康で 文化の薫る 豊かな郷に 新風を～

平成31年3月

豊かな郷づくり推進協議会
豊郷地区地域ビジョン策定委員会

目次

第1章 総論

- 1 「豊郷地区地域ビジョン」策定の趣旨 4
- 2 目標年次 4
- 3 「豊郷地区地域ビジョン」の位置づけ 4
- 4 「豊郷地区地域ビジョン」の6つの柱 5
- 5 豊かな郷づくり推進協議会と地域ビジョンの関わり方 5

第2章 豊郷地区の概要

- 1 豊郷地区のあゆみ 7
- 2 豊郷地区の地勢 8
- 3 豊郷地区の世帯数および人口 10

第3章 豊郷地区の現況

- 1 町名 13
- 2 豊郷地区の主な施設や文化財・遺跡など（図面） 15

第4章 「豊郷地区地域ビジョン」重点項目

- 1 地域コミュニティ（地域の情報発信を含む） 18
- 2 安全・安心 19
- 3 自然環境・生活環境 21
- 4 歴史・文化・スポーツ・教育 22
- 5 子どもの健全育成 24
- 6 健康・福祉 26

第5章 「豊郷地区地域ビジョン」の実現に向けて

- 1 住民の方々へのお願い 29
- 2 地域ビジョンの策定、その実現に向けて 29

第6章 参考資料

- 1 「豊郷地区地域ビジョン」策定経過 31
- 2 「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会設置要領 32
- 3 「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会委員名簿 34
- 4 住民アンケート調査報告書（概要） 36
- 5 地域活動団体別ヒアリング結果（概要） 38



「豊郷地区地域ビジョン」策定にあたって

豊かな郷づくり推進協議会 会長 坂本 登

豊かな郷づくり推進協議会の会長を仰せつかっております坂本登と申します。

豊郷地区にお住いの皆様方におかれましては、日頃から、豊郷地区の発展のためにご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

また、特に自治会長、地域活動団体の長、各小中学校長、PTA 役員等におかれましては、率先してまちづくり事業を推進していただきまして重ねて厚く御礼申し上げます。

この「豊郷地区地域ビジョン」につきましては、これからの豊郷地区のまちづくりの指針となるもので、平成 29 年度から 2 年間をかけて策定してまいりました。

昨年度は、住民の皆様方におかれましては、アンケートにご協力をいただきました。ご多忙中、ご回答ありがとうございます。

また、地域活動団体の方々にも、将来のまちづくりについてのヒアリングを実施しまして、皆様方の豊郷地区に対する熱い思いを十分にくみ取らせていただきました。

それらを踏まえまして、地域ビジョン策定委員会を開催し、委員の方々の意見を伺いながら策定したところであります。

現在、豊郷地区は、住民が一丸となって参加している市民スポーツ大会において総合優勝 4 連覇中であります。

また、安全・安心なまちづくりの推進のため、各自治会長さんをはじめ様々な方々の協力のもと、2 台の青色回転灯パトロール車を活用した地域全体の防犯パトロールの実施や、また、各单位自治会毎における防犯カメラの設置などに努めているところであります。このように、地域ビジョンの 6 つの大きな方向性に沿って事業を推進していき、10 年後の豊郷地区が、「住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と思えるようなまちづくりを目指していきたいと考えているところであります。

結びになりますが、この地域ビジョンの策定にあたりましては、「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会、同事務局をはじめ、アンケートにご協力いただいた住民の皆様方、地域活動団体の方々、帝京大学の山川充夫教授、市みんなでまちづくり課の皆様方など協力をいただきまして心から御礼を申し上げます。

1

第1章 総論

「豊郷地区地域ビジョン」策定の趣旨、目標年次、位置づけ、6つの柱などについて説明します。

1 「豊郷地区地域ビジョン」策定の趣旨

10年後の豊郷地区を「住んでよかった」「これからもずっと住み続けたい」と思えるまちとしていけるよう、地域住民自らが、地域の将来のまちづくりについて話し合い、将来の基本構想（目標）と、その実践を明確にする「地域まちづくり計画（地域ビジョン）」を掲げることが必要になります。

地域まちづくり計画（地域ビジョン）は、地域住民自らが、地域の課題や特性を共有し、共通の目標を持って、連携・協力していくために、地域の現状（課題、特色など）を見つめ直し、①「自分たちがどのようにしていきたいのか」、そのために②「自分たちで何ができるのか」を考え、地域の目指すべき姿（地域の将来像）と、その実現に向けた取り組みを示したもの（指針）です。

2 目標年次

完成年次から10年後（2027年）の豊郷地区のあるべき姿を目標として掲げています。

3 「豊郷地区地域ビジョン」の位置づけ

「地域ビジョン」は、地域と行政の協働によるまちづくりを推進するために、地域が、行政と協力・連携しながら、地域の意志としてつくりあげるものです。

また、基本構想である地域ビジョンを具現化するための実践プランについては、地域と行政それぞれの役割に基づいて策定することとなります。

これまでも、「豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会」は、7つの各部会において様々な地域課題の検討を進めてきました。

今後は、この地域ビジョンをもとに、地域づくりをより一層推進していくこととなります。

なお、改定時期の到来や見直しが必要な際には、本ビジョンを基本として、それまでの取組内容を検証しながら改定するものとします。

行政は、地域の目指すべき姿を尊重し、その実現に向けた地域の主体的な取組を支援する役割を担います。

また、地域の目指すべき姿を共有し、全市的な視点や市を取り巻く社会状況、国・県の動向などを総合的に勘案し、十分に意見交換を行いながら、地域との協働により取組をすすめていきます。

4 「豊郷地区地域ビジョン」の6つの柱

豊郷地区地域ビジョン策定にあたっては、地域の住民の方々の理解と総意を得ることが極めて重要であることから、自治会加入の全ての住民に対してアンケート調査を実施しました。その調査結果や各種の地域活動団体等のヒアリングの結果を参考にして、【①地域コミュニティ（地域情報発信を含む。）】【②安全・安心】【③自然環境・生活環境】【④歴史・文化・スポーツ・教育】【⑤子どもの健全育成】【⑥健康・福祉】という6つの柱（方針）を決定しました。

そして6つの柱（方針）ごとに、豊郷地区の現状（弱み、強み）、課題等を把握し、具体的な取組について選定しました。

5 豊かな郷づくり推進協議会と地域ビジョンの関わり方

豊かな郷づくり推進協議会には、総務、広報、地域安全、環境、教育・文化、青少年育成、健康・福祉の7つの部会が組織されています。

また、各部会には、各種の地区の地域活動団体が所属し、様々な事業を実施しています。

今後は、各種の地域活動団体の事業と地域ビジョンでの事業計画の整合性を図り、事業の充実や見直しを地域が一体となって取り組み実施していくこととします。

豊かな郷づくり推進協議会 部会組織図(平成30年度)



2

第2章

豊郷地区の概要

市中央図書館が作成した地域データベースを抜粋して
豊郷地区の概要を説明します。

1 豊郷地区のあゆみ

1 地区年表

年次	主なできごと
享保 8 年 (1723)	五十里洪水により山本・長岡・上川俣・下川俣・岩曾・竹林・大曾などの田畑や家屋に大きな被害を受ける
昭和 20 年 (1945)	宇都宮空襲 今泉新田 戸数 67 戸のうち 4 割近い家屋に被害
昭和 25 年 (1950)	豊郷村立公民館が設置される
昭和 29 年 (1954)	豊郷村が宇都宮市に合併 豊郷村役場が宇都宮市豊郷支所に改称 豊郷村立公民館が宇都宮市立豊郷公民館に改称
昭和 32 年 (1957)	豊郷支所を廃止して豊郷出張所を設置
昭和 57 年 (1982)	東北新幹線（大宮－盛岡間）開業
昭和 58 年 (1983)	宇都宮救急医療センター落成 宇都宮市夜間休日救急診療所開所（竹林町）
平成元年 (1989)	帝京大学理工学部（豊郷台 1 丁目）が開設
平成 2 年 (1990)	豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会設立
平成 8 年 (1996)	宇都宮外環状線（宮環）全線開通 岩曾町に豊郷地区市民センター開設、豊郷公民館との複合施設化 宇都宮市の中核市移行に伴い、竹林町の栃木県保健所が閉鎖され、同所に宇都宮保健所設置 済生会宇都宮病院が中央本町から竹林町に移転開院
平成 9 年 (1997)	宇都宮美術館開館（長岡町） 「豊郷まほろばの道」指定
平成 10 年 (1998)	宇都宮保健所（竹林町）が新築移転
平成 14 年 (2002)	豊郷公民館を豊郷生涯学習センターに名称変更
平成 27 年 (2015)	豊郷まほろばの道、新日本歩く道 100 選（ふるさとの道）に認定 関東東北豪雨（台風 18 号）により瓦谷町など浸水等の被害をうける
平成 29 年 (2017)	地域内交通「とよさとまほろば号」本格運転開始 「豊郷まほろばの道」トーテンポール等リニューアル
平成 30 年 (2018)	「豊郷地区地域ビジョン」策定 「豊郷まほろばの道」PR マップ作成

2 豊郷地区の地勢

半世紀ほど前の豊郷地区は、のどかな田園地帯・里山であった。市街地に隣接するため、昭和30年代中ごろを境に、各所で急速な開発が進み、西部の丘陵と東部の畑地帯の大半が宅地に転用された。

1 地質・地形

豊郷地区を構成する地層は、概ね第三紀・第四紀の水成岩から成り立っている。第三紀層は上部福渡戸層群、鹿股川層群、寺山層群の三系統に類別され、田川・鬼怒川両岸は第四紀沖積層に属しており、地質的には縦貫する田川によって分けられている。

地区内には山本断層、田川断層があり、いずれも第四紀層生成以前のもので、第四紀層での堆積がそのままの状態であることから、第四紀層以後は比較的静穏な時を経過してきたものと考えられている。

豊郷地区西部の丘陵は、宇都宮丘陵と呼び第三紀層地質の台地である。この宇都宮丘陵が現在の形状になったのは、関東ローム層が堆積する以前のことで、田川の水による長い年月をかけた浸食作用によって南と北の丘陵に分断され、瓦谷横谷を形成させたおだやかに起伏する丘陵の中心部付近は、住宅団地・ゴルフ場・霊園などに開発されている。

2 河川

地区内を流れる河川の分類

- (1) 一級河川（国・県が管理）⇒ 田川、山田川、御用川
- (2) 二級河川（県が管理）⇒ 該当なし
- (3) 準用河川（市が管理特別指定）⇒ 一待川、向川、西川、奈坪川、美しの川、求喰川支流
- (4) 普通河川（国・県が管理し、一級、二級、準用河川以外の河川）
⇒ 中堀川他

3 主な湖沼

- (1) 長岡湿地（宇都宮市長岡町 標高150m）

宇都宮市の配水場があり、地元で水道山と呼ばれて来た丘陵地の谷間（富士見ヶ丘団地と長岡公園の間）にある湿地。水源は谷間の湧水で、谷沿いに長さ200m余にわたってハンノキ林からなる湿地となっている。ハンノキ林の下方は水田が谷沿いにあるが、一部は休耕田と成っている。周囲はコナラ林（一部はスギ・ヒノキ人工林）に囲まれている。

4 森林

- (1) うつのみや文化の森

豊郷台団地に隣接する里山の自然を生かした26haの公園で、園内には宇都宮美術館がある。コナラやクヌギなどの雑木林に覆われ、その中に二つの池が点在する。

1年を通じてシジュウカラやヤマガラ・エナガ・コゲラなどが見られ、春秋にはセンダイムシクイやオオルリなどが立ち寄る。冬にはツグミやシロハラ・カシラダカ・シメなどがよく見られ、池にはマガモやカルガモが飛来する。

(2) 長岡樹林地と長岡公園

長岡樹林地は、長岡公園と富士見が丘団地の間に位置し、近辺の開発からのがれて残った広さ約100haの樹林地。主にコナラの雑木林だが、スギ・ヒノキなどの人工林も点在する。中央部を沢が流れ、ため池・ハンノキの湿地・谷津田など水辺環境に恵まれて、今も里山の面影が残る。樹林地の一部はグリーントラストうつのみやが保全管理する。長岡公園は広さ約11haの総合公園。

樹林地と公園では、シロハラ・シメ・マヒワ・ハクセキレイ・ツグミ・コガモ・モズ・カスケ・コゲラ・アカゲラ・アオゲラ・カワセミ等々、多種の鳥が生息する。また、樹林地の湿地では、トウキョウサンショウウオが生息し、当地が生息地の北限といわれている。

5 公共交通

公共交通の現状としては、地区内をバス会社1社が運行しており、南北に走る路線は比較的充実しているものの、これらの路線から距離がある自治会や地区内を東西に移動する場合においては不便を感じている。

また、市交通政策課によると、地区内には公共交通空白地域が存在し、そこで生活している人数は、平成29年度で約8,560人おり、そのうち約2,000人が65歳以上の高齢者となっている。

このようななか、これからの超高齢社会等に対応するため、新たにタクシー車両を活用し、地域内をきめ細かく運行し、日常生活に必要な移動手段となる地域内交通を導入した。

【豊郷地区 地域内交通】

- ・名称（愛称） 「とよさとまほろば号」
- ・基本理念 地域内交通は、高齢者など移動手段に困っている方々を、地域全体で支えるまちづくり事業である。
- ・運行開始 平成28年3月12日（平成29年3月1日から本格運行に移行）

6 産業

豊郷地区の農業は、戦前から米麦が中心であった。戦後、昭和20年代後半から昭和40年代にかけて、しいたけ・かぼちゃ・きゅうり・たまねぎの生産部会や、苗木（山林苗・果樹苗）の生産組合が結成された。

商業については、昭和50年代、下川俣町・岩曽町・竹林町など白沢街道沿いに諸業種の商店が進出し、岩曽東地区においては岩曽東商店街が結成された。平成に入り、宮環の開通や豊郷台団地が整備されると、大型スーパーなどの出店が相次ぎ、人口の増加とともに商業活動が活発になっていった。

また、かつて、長岡町・山本町では石材の採掘が行われていた。この一帯には凝灰岩の地質が広がっていて、大谷石と同じく石材として利用され、昭和30年代まで採石が行われていた。

3 豊郷地区の世帯数および人口

1 宇都宮市全体から見た豊郷地区の状況

- ・面積（宇都宮市統計データバンクデータ）
- ・人口世帯数（平成 28 年住民基本台帳データ）

項目	宇都宮市	豊郷地区	豊郷地区の順位 (全 39 地区)
・人口	521,906	33,787	4
・世帯数	229,011	14,090	4
・面積 (km ²)	416.85	23.769	7
・人口密度 (1 km ² あたり)	1,250	1,421	30
・年少人口構成率	13.85	14.51	11
・生産年齢構成率	62.61	62.75	15
・高齢者人口構成率	23.53	22.75	24
・人口増加数	15,118	1,894	6
人口増加率 (%)	2.98	5.94	10
・世帯増加数	19,117	1,561	4
世帯増加率 (%)	9.11	12.46	11

※地域まちづくり組織（39 連合自治会）エリア別基本データ

※人口増加数（率）、世帯増加数（率）は平成 22 年データとの比較

- ・人口動態調査（平成 28 年中）

項目	宇都宮市	豊郷地区	豊郷地区の順位 (全 16 地区)
・出生数	4,653	351	5
・死亡数	4,733	324	4
・自然増人数	- 80	27	4
・転入者数	32,612	2,249	5
・転出者数	32,084	2,172	6
・社会増数	528	77	5
・人口増加数	448	104	4

2 世帯・家族

- ・家族類型別世帯数（平成 27 年国勢調査結果）

項目	核家族 世帯数	単独世帯数	高齢夫婦 世帯数	高齢单身 世帯数
宇都宮市全体	123,068	73,337	17,946	19,032
豊郷地区 (全 16 地区)	10,108	4,618	1,414	1,187

・核家族率（平成 27 年国勢調査結果）

順位	1 位	2 位	3 位	7 位
地区名	河内	瑞穂野	雀宮	豊郷
核家族率 (全 16 地区)	66.0%	65.5%	63.0%	62.2%

3 高齢者

・高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の割合）(政策審議室データ)

宇都宮市全体	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
高齢者人口	122,798	135,531	141,724	146,302
豊郷地区の 高齢者人口比	22.6%	—	—	—
宇都宮市の 高齢者人口比	23.5 %	26.2%	27.6%	29.0%

※地域まちづくり組織（39 連合自治会）エリア別基本データ

・高齢者の世帯（平成 27 年国勢調査結果）（全 16 地区）

65 歳以上の単独世帯			65 歳以上の夫婦世帯		
順位	地区	割合 (%)	順位	地区	割合 (%)
1	富屋	15.67	1	篠井	11.86
2	陽南	12.97	2	陽南	10.72
3	瑞穂野	11.14	3	雀宮	10.49
4	本庁	10.21	4	河内	10.23
5	宝木	9.53	5	姿川	9.55
12	豊郷	7.30	8	豊郷	8.64

4 住宅環境

・持ち家（平成 27 年国勢調査結果）（全 16 地区）

持ち家率 順位	地区名	持ち家世帯数	持家率
1	篠井	745	98.2
2	上河内	2,806	86.9
3	河内	10,003	78.9
9	豊郷	10,609	65.3
	宇都宮市全体	129,072	59.4

・借家（平成 27 年国勢調査結果）（全 16 地区）

順位	地区名	借家戸数	借家の 占める割合
1	横川	8,540	53.9
2	本庁	31,043	49.4
3	平石	6,224	46.4
7	豊郷	5,424	33.4
	宇都宮市全体	85,641	39.4

3

第3章

豊郷地区の現況

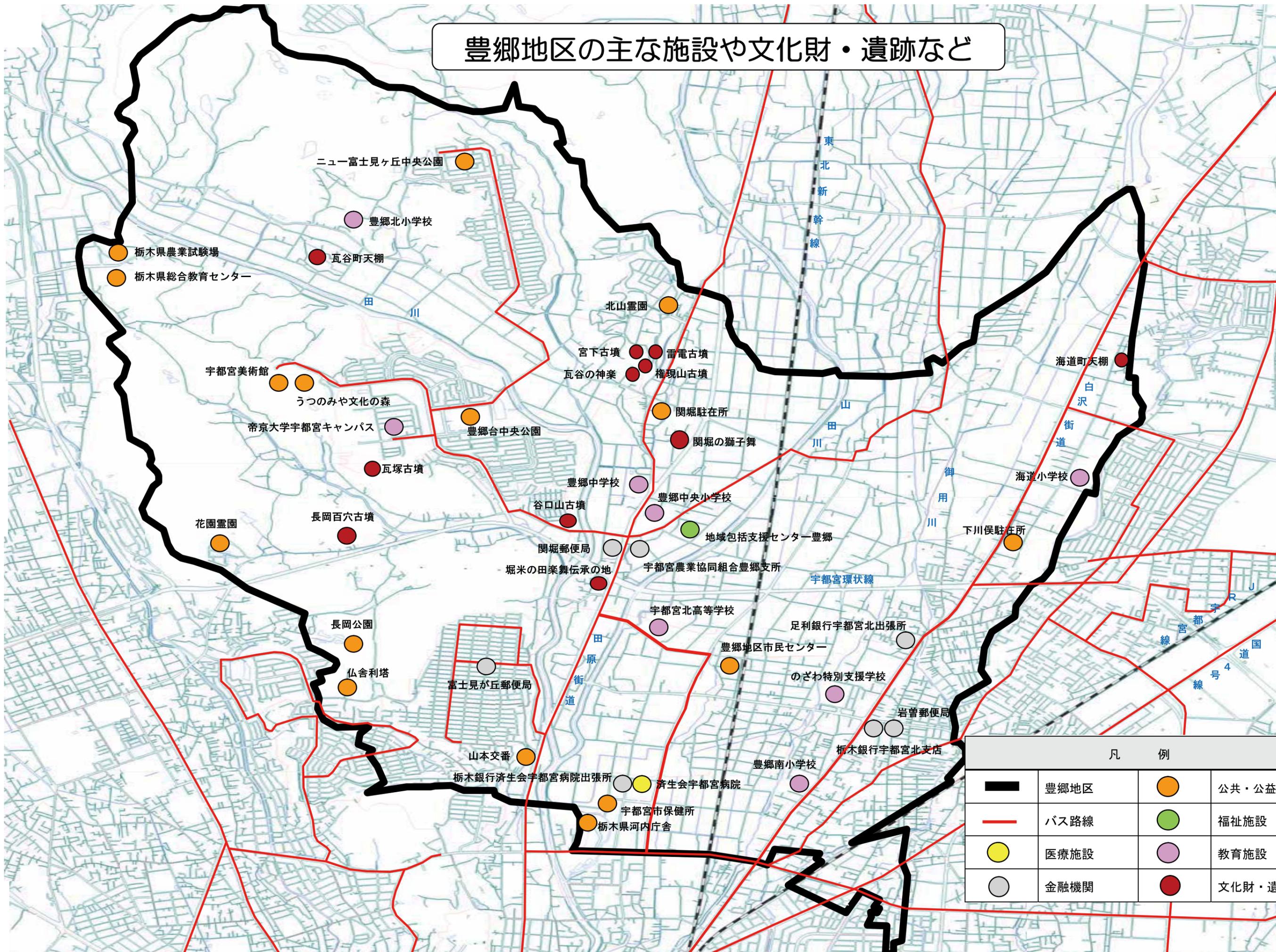
市中央図書館が作成した地域データベースを抜粋し
各町名の由来等や主な施設について説明します。

1 町名

町名	由来等
いまいづみしんまち 今泉新町	江戸期から明治22年まで 今泉新田村 宇都宮藩領 明治22年 今泉新田村の一部が宇都宮町今泉町となる 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字今泉新田 昭和26年 今泉新田の一部が宇都宮市に編入し、宇都宮市御幸町になる 昭和28年 今泉新田の一部が宇都宮市に編入し、宇都宮市東町になる 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
いわぞまち 岩曽町	江戸期から明治22年まで 岩曽村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字岩曽 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
いわもとちょう 岩本町	江戸期から明治22年まで 岩本村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字岩本 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
かいどうまち 海道町	江戸期から明治22年まで 海道新田村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字海道新田 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
かわまたちちょう 川俣町	江戸期から明治22年まで 上川俣村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字上川俣 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
かわらやちょう 瓦谷町	江戸期から明治22年まで 瓦谷村 二荒山神社神領地 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字瓦谷 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
しもかわまたち 下川俣町	江戸期から明治22年まで 下川俣村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字下川俣 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
せきぼりちょう 関堀町	江戸期から明治8年まで 関沢村と堀米村 二荒山神社神領地 明治8年 関沢村と堀米村が合併して関堀村成立 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字関堀 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名
たけばやしまち 竹林町	江戸期から明治22年まで 竹林村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字竹林 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名 昭和53年 一部が錦1～3丁目となる
とよさとだい 豊郷台1丁目	平成2年住居表示実施により成立 もと長岡町、瓦谷町の一部
とよさとだい 豊郷台2丁目	平成2年住居表示実施により成立 もと長岡町、関堀町、瓦谷町の一部
とよさとだい 豊郷台3丁目	平成2年住居表示実施により成立 もと長岡町、瓦谷町の一部
ながおかしちょう 長岡町	江戸期から明治22年まで 長岡村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字長岡 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名

町名	由来等
富士見が丘1丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと長岡町、山本町の一部
富士見が丘2丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと長岡町、山本町の一部
富士見が丘3丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと長岡町、山本町の一部
富士見が丘4丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと長岡町、山本町の一部
富士見が丘5丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと長岡町、山本町の一部
山本1丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと山本町の一部
山本2丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと山本町の一部
山本3丁目	平成5年住居表示実施により成立 もと山本町の一部
山本町	江戸期から明治22年まで 山本村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字山本 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名 昭和57年 一部が戸祭台になる 昭和63年 一部が八幡台になる
横山1丁目	平成7年住居表示実施により成立 もと横山町の一部
横山2丁目	平成7年住居表示実施により成立 もと横山町の一部
横山3丁目	平成7年住居表示実施により成立 もと横山町の一部
横山町	江戸期から明治22年まで 横山村 宇都宮藩領 明治22年から昭和29年まで 豊郷村大字横山 昭和29年から 現在の宇都宮市の地名

豊郷地区の主な施設や文化財・遺跡など



4

第4章

「豊郷地区地域ビジョン」重点項目

豊郷地区地域ビジョンの6つの柱（目指すべき方向性）
による重点項目を説明します。

地域ビジョン重点項目

1 地域コミュニティ（地域の情報発信を含む。）

所管：豊かな郷づくり推進協議会【総務、広報部会】

あるべき姿（方向性）

みんなが情報を共有し、みんなの気持ちが通じ合い、
みんなが幸せを実感できる活力あるまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・地域広報誌「広報とよさと」を全戸配布している。
- ・地区のホームページを円滑に運営している。
- ・様々な行事やイベントを開催したりするなど自治会活動が活発である。

豊郷地区の弱み

- ・地域活動への参加（協力）意識が低い方もいる。

住民アンケートから導き出される課題

- ・「自分たちのまちは、自分たちで作る」という共通理念のもと全員参加のまちづくりを実現する必要がある。
- ・多種多様な情報収集と発信が必要である。
- ・心が通じ合い、強い絆で結ばれる環境を作る必要がある。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- コミュニティ活性化のための「あいさつ運動」の徹底
- 情報発信の充実を図るため、魅力あふれる地区のホームページの活用
- 地域活動の更なる活性化
- 自治会への加入促進

【新規事業】

- 地域文化の伝承などの人材の発掘や活用する仕組みづくり

地域ビジョン重点項目

2 安全・安心

所管：豊かな郷づくり推進協議会【地域安全部会】

あるべき姿（方向性）

事件・事故のない、誰もが安心して安全に暮らせるまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・青パト車（2台）を活用した防犯パトロールを実施している。
- ・子ども達は、あいさつがよくできている。
- ・地元にあ着心のある消防団員が多く団結力が強い。
- ・各小学校において防犯パトロールを実施している。

豊郷地区の弱み

- ・まれに空き巣等の被害にあうことがある。
- ・通学路等にやや危険な個所が見受けられる。

住民アンケートから導き出される課題

- ・地域住民の絆を深め「自分たちのまちは自分たちで守る」活動を実践する必要がある。
- ・防災意識を地域全体に浸透させ、防災行動力を高める活動に取り組む必要がある。
- ・地域全体の安全・安心の確保に向け、地域情報の共有化とネットワークの形成を図る必要がある。
- ・交通弱者にも配慮した、安心して活動できる道路交通環境を整備する必要がある。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- 防犯活動の充実・強化
- 全自治会毎の防犯カメラの設置
- 防犯灯の設置と管理
- 青色回転灯パトロール車を活用した防犯パトロールの実施
- 危険な個所の把握・周知・改善
- 通学路の交通安全のためのストップマーク等補修活動
- 現状把握による空き家、空き地対策

【新規事業】

- 次世代を担う消防団員の育成
- それぞれの世代に応じた交通安全教室の開催
- 防災訓練の強化
- 防災マップの更新
- 高齢者自転車免許教室の開催
- 高齢者を対象とした見守りマップ（班単位）の作成
- 交通事故防止の意識の高揚を図るための脳トレ交通講話の開催



青色回転灯パトロール車出発式



子ども消防団



防災訓練



防災訓練（放水）

地域ビジョン重点項目

3 自然環境・生活環境

所管：豊かな郷づくり推進協議会【環境部会】

あるべき姿（方向性）

美しい自然と環境を大切にし、安らぎをもって暮らせるまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・ごみの分別や資源化、マイバッグ活用への住民意識が高まっている。
- ・自然環境保全活動が活発である。
- ・地区内に多くの「うつのみや百景」選出箇所がある。
- ・「とよさとまほろばの道」が新日本歩く道100選に認定される。

豊郷地区の弱み

- ・山林やごみステーションへの不法投棄が増えてきている。

住民アンケートから導き出される課題

- ・美しい環境と自然を保全していく必要がある。
- ・地区内外において、情緒あふれる「まほろばの道」のPRに努める必要がある。
- ・ごみステーションへの不法投棄が増えているため対策が必要である。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- 地元の中学生と行う古墳群の清掃活動の実施
- CO₂削減に向けたLED防犯灯の設置と管理
- ごみ排出ルールの徹底
- 不法投棄監視活動の充実
- 楽しく参加できる自然環境保全活動の推進
- 「豊郷まほろばの道」のPR活動の充実

【新規事業】

- 地域ぐるみの「花の郷とよさとづくり」の推進

地域ビジョン重点項目

4 歴史・文化・スポーツ・教育

所管：豊かな郷づくり推進協議会【教育・文化部会】

あるべき姿（方向性）

伝統文化を継承するとともに、歴史を大切にしながら新しい文化を創造するまち
スポーツに親しみ仲間を増やすとともに、地域の再生や活性化を図るまち
誰もが学ぶことを大切にするまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・地域スポーツクラブが活況を呈している。
- ・地区内に大学、高校、小中学校、美術館などが存在している。
- ・古墳群の清掃活動を実施している。
- ・生涯学習活動が活発である。

豊郷地区の弱み

- ・古墳群など歴史文化資源が豊富にあるが地区外の方にはほとんど知られていない。

住民アンケートから導き出される課題

- ・気軽に参加できるスポーツを通して、健康づくりを進める必要がある。
- ・身近に歴史・文化に触れるなど、わがまちに誇りや愛着を感じる必要がある。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- 豊郷まつり、地区体育祭、歩け歩け大会の開催
- 地域にゆかりのある文化に触れる生涯学習講座の開催
- 地域スポーツクラブの充実

【新規事業】

- 子どもたちが優れた芸術文化に触れる機会を拡充する事業の展開
- 子どものころからの郷土愛の醸成事業の展開
（お囃子会、古墳群愛護会等の横断的な連携の強化）
- 地区内外に向けた伝統文化の情報発信



豊郷元気スポーツクラブ ハイキング



地区体育祭



関堀の獅子舞



長岡百穴のそばの案内板・丸太道標等



ふるさと宮まつり



生涯学習講座「まほろば探検塾」

地域ビジョン重点項目

5 子どもの健全育成

所管：豊かな郷づくり推進協議会【青少年育成部会】

あるべき姿（方向性）

子どもたちが、心身ともにたくましく、健やかに育てられる生活環境が整ったまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・子ども会活動が活発である。
- ・リーダースクラブ、子ども消防団、お囃子会などがある。
- ・子ども達はあいさつがよくできている。
- ・様々なイベントでお囃子会等活躍している。

豊郷地区の弱み

- ・子ども会を廃止した自治会も存在する。

住民アンケートから導き出される課題

- ・時代に即した魅力あるイベントとするため、子どもたちや保護者と意見交換をしながら企画立案する必要がある。
- ・次世代を担う若年層の育成を、これからも図る必要がある。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- 子どもフェスタ、クリスマスコンサート、花いっぱいコンクール、どんどん焼き等の開催
- リーダー研修会等の実施
- 市民総ぐるみ環境点検の実施

【新規事業】

- ありがとう運動の実施
- 地域行事への中学生ボランティアの参加促進の仕組みの構築
- 子どもの貧困対策を含めた生活支援対策の一環としての子ども食堂の検討



子どもフェスタ



花いっぱいコンクール



クリスマスコンサート



リーダー研修会



子どもお囃子会



どんどん焼き

地域ビジョン重点項目

6 健康・福祉

所管：豊かな郷づくり推進協議会【健康・福祉部会】

あるべき姿（方向性）

みんなで支え合い、生きがいをもって心豊かに暮らせる
元気なまち

現状（豊郷地区の強み及び弱み）及び課題

豊郷地区の強み

- ・高齢者が元気である。
- ・人口増加傾向の自治会もある。
- ・個人宅でサロンを実施している方もいる。
- ・地域活動目的団体間の連携が緊密である。

豊郷地区の弱み

- ・高齢化が進んでいる。また、単身世帯も多い。
- ・イベント時の協力者や参加者がいつも固定化しつつある。
- ・いわゆる老人クラブを廃止した自治会もある。
- ・空き家、空き地が増加している。

住民アンケートから導き出される課題

- ・コミュニケーションが希薄になってきているため、世代を超えて顔をあわせる機会の場を創出する必要がある。
- ・高齢者の健康づくりや健康長寿を促進するため、豊郷地区独自の取り組みが必要である。
- ・自助、共助、公助の3つの「助」を理念とした地域社会の実現を目指していく必要がある。

具体的な取組

【既存事業（継続）】

- 歩け歩け大会の開催 【再掲】
- 地域内交通の利用促進
- 健康づくり事業の推進
- ふれあい会食会の実施、ひとり暮らし高齢者への配食サービスの推進
- サロン活動の実施

【新規事業】

- 高齢者に関するあらゆる相談の受付体制（地域包括ケアシステム第2層協議体）の確立
- 住民間の見守り活動、生活支援活動の推進
- 高齢者の経験や知恵を後世に伝える「生きがい事業」の推進
- 空き家、空き店舗を活用したコミュニティ創設の検討



頭と体の健康教室



社会福祉協議会 ふれあい会食会



地区敬老会



合同研修会

5

第5章

「豊郷地区地域ビジョン」の実現に向けて

これから地域ビジョンに基づく地域づくりを進めるにあたり
住民の方々へのお願いがあります。

1 住民の方々へのお願い

豊郷地区のこれからの10年間を見据えた地域ビジョンの策定にあたりましては、地域住民の皆さんのアンケートや、各種地域活動団体・関係機関の代表者の貴重なご意見やご協力により検討を進めてまいりました。

今後、掲げた目標の実現に向けて、私たちは一丸となって、「地域コミュニティ（情報発信を含む）」「安全・安心」「自然環境・生活環境」「歴史・文化・スポーツ・教育」「子どもの健全育成」「健康・福祉」の6つの柱で推進してまいります。

そのためには、これまで検討を進めてきた部会の皆さんをはじめ、地域の住民の方々や各種団体、事業者が行政と連携して取り組んでいくことが重要と考えております。

これからも、地域住民どおしのつながりをより一層強化しながらの地域づくりに、豊郷地区の皆様方の積極的なご参加、ご支援、ご理解を宜しくお願いいたします。

2 地域ビジョンの策定、その実現に向けて

豊郷地区の10年先の目指すべき姿（目標）となる地域ビジョンの策定にあたりましては、市みんなでまちづくり課をはじめ、帝京大学の山川充夫先生、関係団体、地区の役員、また地区内の住民の皆様方のアンケートなど、各方面からの貴重なご意見や、ご提案、アドバイス等をいただきました。

このような中、事務局会議や策定委員会におきまして、度々検討を重ね地域の総意として、地域ビジョンを策定しました。

豊郷地区は、宇都宮市の北東部に位置し、南部は市中心部から比較的近い距離で市街地に接しています。面積は、24.6km²で、富士見が丘団地・ニュー富士見が丘団地・豊郷台団地などの大規模住宅団地も有しています。

まちづくりの母体となる豊郷地区連合自治会は、平成31年2月現在で世帯数9,295世帯、41の単位自治会で構成されています。

このような状況の中で、同じ目標に向かうには、各々の地区に合った手法を用いながら地域づくりを行っていく必要があると考えました。

そうしたことから、ビジョンにおいては、具体的な個別の計画を掲げることより、まずは根幹となる方針を定め、重要性を勘案しながら自分たちができることから始めていくこととしました。

今後、まちづくりの事業として、私たちが、この地域ビジョンの方向性に沿って企画立案し実践していくこととなります。

これからも、地域一丸となって「住んでよかった」「これからもずっと住み続けたい」と思えるまちづくりを目指していきたいと考えております。

最後になりますが、ビジョンの策定にあたりまして、ご協力、ご支援を賜りました地域の皆様方をはじめ、関係各位に厚く感謝申し上げます。

これからの豊郷地区のまちづくりに期待してください。

平成31年3月

豊郷地区地域ビジョン策定委員会
委員長 金崎 一雄

6

第6章

参考資料

地域ビジョンの策定経過やビジョン策定委員会設置要領、
ビジョン策定委員名簿などを記載してあります。

1 「豊郷地区地域ビジョン」策定経過

平成 29 年度		平成 30 年度	
月	取組内容	月	取組内容
4	豊かな郷づくり推進協議会総会で地域ビジョン策定が了承	4	豊かな郷づくり推進協議会役員会開催
5	総務部会にて策定委員の選定等開始	5	豊かな郷づくり推進協議会専門部会開催
6		6	広報とよさと取組状況掲載
7		7	
8		8	第4回地域ビジョン策定委員会開催
9	第1回地域ビジョン策定委員会開催 広報とよさと取組状況掲載	9	広報とよさと取組状況掲載
10		10	
11	全世帯住民アンケート実施	11	第5回地域ビジョン策定委員会開催
12	広報とよさと取組状況掲載	12	豊かな郷づくり推進協議会総務部会開催
1	地域活動団体別ヒアリング実施	1	冊子、概要版の印刷発注、作成
2	第2回地域ビジョン策定委員会開催	2	豊郷地区まちづくり懇談会開催
3	第3回地域ビジョン策定委員会開催 広報とよさと取組状況掲載	3	豊かな郷づくり推進協議会役員会開催

※策定委員会事務局会議（ワーキンググループ）は、随時開催した。

2

「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会設置要領

(目的)

第1条 豊郷地区の将来あるべき姿及びその実現に向けた取組を検討するため、豊郷地区地域ビジョン（以下、「地域ビジョン」という。）策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会（以下、「協議会」という。）が設置し、委員は、別表第1に定める各種団体等から推薦された者、その他策定に当たり協議会が必要と認めた者（以下、「策定委員」という。）で構成する。

2 策定委員の任期は2年とする。ただし、事業の進捗により延長できるものとする。

(委員長等)

第3条 委員会には、委員長1名、副委員長若干名を置く。

2 委員長は、協議会の総務部会長とし、副委員長は、策定委員の中から互選で選任する。

3 委員長は、委員会の運営・統括を行い、副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その職務を代理する。

(事務局)

第4条 委員会の運営に必要な事務を処理するため事務局を置き、事務局長は委員長が選任する。

2 事務局は委員長の命を受け、委員会の事務執行の任にあたる。

3 事務局は豊郷地区市民センター内に置く。

(業務)

第5条 策定委員会は、地域ビジョンの策定に当たり、次の業務を行う。

- (1) 地域の意見等の取りまとめ
- (2) 将来の構想及び計画づくり
- (3) 地域まちづくりへの提言
- (4) その他目的達成のための必要な事項

(情報共有)

第6条 策定委員会は、地域ビジョン策定に当たり、地域住民への趣旨のPR、適宜各種団体との調整を行うとともに、情報を共有し円滑な業務遂行に努める。

(会議)

第7条 策定委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長が必要と認めるときは、協議会役員及び委員以外の者を会議に出席させ、説明若しくは報告又は意見を求めることができる。

3 策定委員会における経過及び結果については、協議会役員会等において報告する。

(情報公開)

第8条 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。ただし、重要な事項は協議会の承認を得るものとする。

附 則

この要領は、平成29年9月1日から施行する。

別表第1 (第2条関係)

豊郷地区連合自治会、豊郷地区社会福祉協議会、豊郷地区民生委員児童委員協議会、豊郷地区体育協会、豊郷地区むらづくり推進協議会、豊郷地区婦人会、豊郷地区子ども会育成会連絡協議会、豊郷地区青少年育成会、豊老連、豊郷地区少年巡回指導員会、豊郷地区防災会、豊郷地区地域内交通運営委員会、帝京大学、豊郷地区PTA連絡協議会、宇都宮農業協同組合豊郷支所、宇都宮市消防団豊郷分団、地域包括支援センター豊郷、豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会、豊郷地区市民センター

3

「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会委員名簿

(敬称略)

No.	役職名	氏名	所属団体等名称
1	委員長	金崎 一雄	豊かな郷づくり推進協議会 総務部会長
2	副委員長	綱河 和子	防災会
3	委員	首藤 慎二	連合自治会
4	委員	遠藤 良一	社会福祉協議会
5	委員	石嶋 啓造	民生委員児童委員協議会
6	委員	須藤 義幸	体育協会
7	委員	佐藤 有俊	むらづくり推進協議会
8	委員	高橋 詔子	婦人会
9	委員	小林 弘幸	子ども会育成会連絡協議会
10	委員	小堀 鉄夫	青少年育成会
11	委員	杉山 信雄	豊老連
12	委員	松島 俊夫	少年巡回指導員会
13	委員	大島 幸久	地域内交通運営委員会
14	委員	丹羽 孝仁	帝京大学
15	委員	山田 紀子 (29年度) 佐藤 要 (30年度)	豊郷地区PTA連絡協議会
16	委員	大森 和典	宇都宮農業協同組合豊郷支所
17	委員	齋藤 涉	宇都宮市消防団豊郷分団
18	委員	後藤 薫	地域包括支援センター豊郷
19	委員	佐藤 重夫	豊かな郷づくり推進協議会
20	委員	石川 喜一	豊かな郷づくり推進協議会
21	委員	木村 晴信 (29年度) 篠原 久男 (30年度)	豊郷地区市民センター

「豊郷地区地域ビジョン」策定委員会事務局

(敬称略)

No.	氏名	所属団体等名称
1	◎ 坂下 修一	豊かな郷づくり推進協議会 事務局員
2	小野 武伸	//
3	池田 民夫 (29年度) 神山 文男 (30年度)	//
4	大竹 優	//
5	北條 博	あさひ台自治会 (総務部会)
6	金枝 宣行	豊郷地区市民センター
7	阿久津 恵子	豊郷地区市民センター

◎：事務局長

4 住民アンケート調査報告書（概要）

アンケート調査への協力への御礼

豊郷地区地域ビジョンの策定に関するアンケート調査について、6,189 世帯の地域の皆様方からの回答を頂き、厚く御礼を申し上げます。

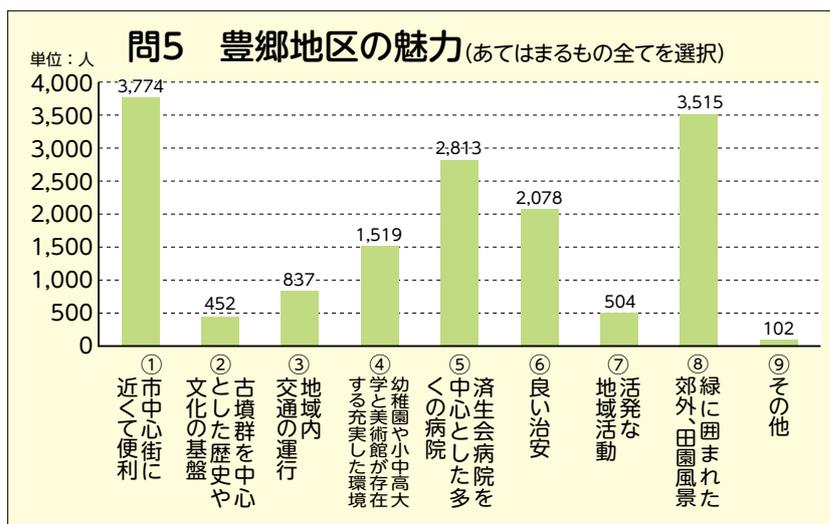
地域ビジョンは、豊郷地区のまちづくりの将来像を明文化する取り組みであり、多くの方々からの期待やご意見をお聞きできたのは、策定を進める我々に対して、まちづくりの方向性を示していただけたものと受け止めており、心強く感じている次第であります。

このように多くの地域の皆様からご意見を頂いていること、また、集計・分析ができたことから、ビジョン策定の基礎資料として利用するだけでなく、豊郷地区の今後のまちづくりにおける様々な活動の中で、参考にさせていただければ幸いです。

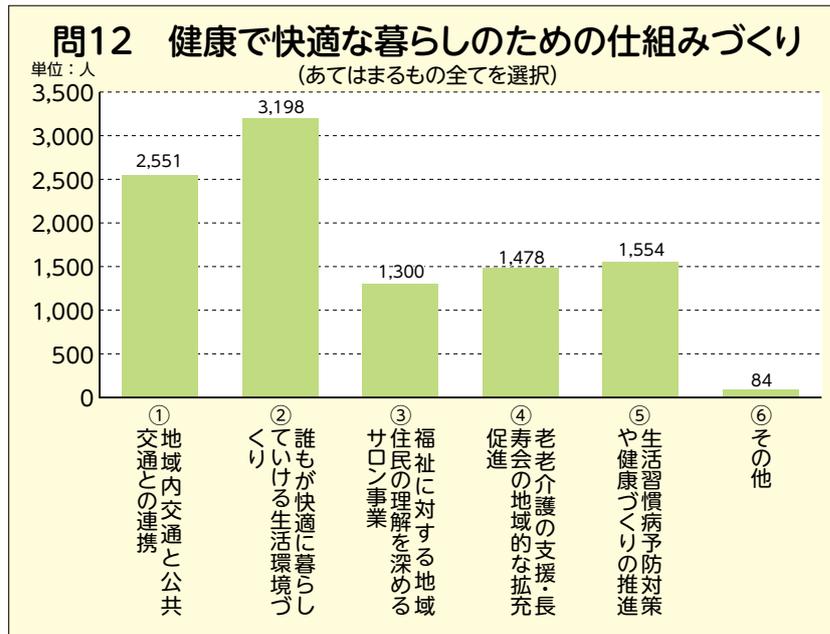
調査期間	平成 29 年 11 月 9 日～ 12 月 20 日
調査対象	自治会加入世帯（自治会を經由して配布・回収）
調査方法	アンケート調査方式
調査項目	「活力ある豊郷地区に必要なもの」等 15 項目
回答者数	6,189 世帯（回答率 67.3%）

● 回答者のプロフィール（基本的事項）

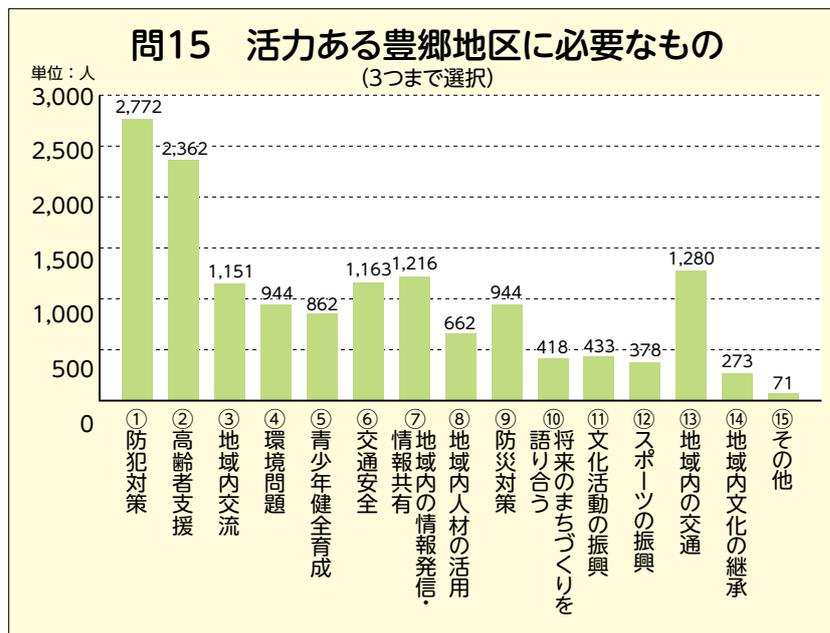
性別は、男 68.2%（4,223 名）、女 30.6%（1,891 名）、無回答 1.2%（75 名）
年齢層は、60 歳以上が、54.5%であり、
居住年数は、20 年以上が 62.1%と大半を占めた。



①市中心街に近くて便利（3,774 人：回答者の 60.0%）、⑧緑に囲まれた郊外、田園風景（3,515 人：56.8%）、⑤済生会病院を中心とした多くの病院（2,813 人：45.5%）が多くを占めています。魅力あるまちづくりを皆さんと一緒に進めていきましょう。



②誰もが快適に暮らしていける生活環境づくり (3,198人：回答者の51.7%)、①地域内交通と公共交通との連携 (2,551人：41.2%) に特に多くの期待が寄せられています。



総括的な質問ですが、①防犯対策 (2,772人：回答者の44.8%)、②高齢者支援 (2,362人：38.2%)、⑬地域内の交通 (1,280人：20.7%)、⑦地域内の情報発信・情報共有 (1,216人：19.6%)、③地域内交流 (1,151人：18.6%) が多くを占めております。

現在、円滑に地域内の交通を実施していることへの高い評価と受け止めるとともに、今後も活力あるまちづくりを目指し、みんなで情報を共有しながら、特に防犯対策、高齢者支援などに取り組んでまいります。

5 地域活動団体別ヒアリング結果（概要）

No.	団体名	主な意見
1	中央交通安全協会 富士見が丘支部	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故のない快適な生活環境 ・婦人部会の設立と住民参加促進 ・高齢運転者免許返納推進と地域内交通促進 ・「ゾーン 30」の速度規制の浸透
2	交通安全母の会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の意識改革を進め交通事故をなくす ・自宅近くでの子ども達への声かけ見守り
3	婦人防火クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の災害の被害を鑑み、自主防衛の意識の定着
4	婦人会	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会入会を勧め、体験ができるシステムの構築 ・設立 70 周年を迎えて婦人会の存在を強める
5	防災会	<ul style="list-style-type: none"> ・豊郷地区の過去の災害状況を調べ防災のすがたを作成
6	民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りが必要な家庭に対し近隣住民と一緒に見守る ・災害や緊急時への備えをする ・子どもの健全育成を図る
7	J A みどり会豊郷支部	<ul style="list-style-type: none"> ・J A グループの大変換に伴い J A 女性会も新しいことに取り組み、地域へ情報発信していく必要がある
8	豊老連	<ul style="list-style-type: none"> ・新規老人クラブの結成 ・スポーツクラブへのラージボール卓球の新設 ・体育祭の老人向けの競技種目の新設（グランドゴルフ）
9	健康づくり推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの住民に運動習慣や健康知識をもってもらい地域住民の健康向上に寄与する
10	食生活改善推進員協議会 豊郷支部	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の全ての住民が健康で生活でき健康寿命を少しでも長くし寝たきりの人を減らす
11	北山古墳群愛護会	<ul style="list-style-type: none"> ・電動草刈り機の操作のできる会員を増やし継続 ・豊郷中生と協働し古墳群の清掃等の維持管理を充実
12	体育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で最も充実した地区体協を目指す ・現在の活動を確保しさらに内容を充実 ・各事業への参加者を増やす ・充実した財源で運営できることを目指す
13	豊郷元気！スポーツクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・より参加しやすいスポーツクラブを目指す ・N P O への検討も進め財源確保により経営基盤の安定化を図り地域の社会的課題へも対応できる体制を構築
14	P T A 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の小中学校 P T A 組織と連携し児童生徒の健全育成に協力する

No.	団体名	主な意見
15	少年巡回指導員会	・市青少年巡回指導員と東警察署管内少年指導員会の計画による巡回を充実する
16	子ども会育成会連絡協議会	・子ども育成に課せられた理念を達成するために種々の活動を実行し継続していく
17	地域内交通運営委員会	・地域住民が安全・安心で文化的な生活を営めるように地区内全ての組織・団体と協働し、生活を営むことが出来る「とよさとライフスタイル」の提案、実現に取り組む
18	交通安全推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関する普及及び啓発活動の推進と交通安全教育の徹底 ・自動車運転者のマナー教育 ・交通環境の整備 ・高齢者を中心に子ども・親世代向けの参加・体験型の交通安全教室の開催 ・高齢運転者の免許証返納の促進と自主返納者に対し「地域内交通無料乗車券」の配布により外出の足を支援する
19	連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会ともども若返りに努力し、役員経験者を増やし地域住民に各種事業に参加してもらおう起爆剤とする ・「豊かな郷づくり推進協議会」と連携し活動する
20	豊かな郷づくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会内で十分に事業を検討し、部会の事業指針に、地域ビジョン、住民アンケート結果を反映させる ・広報部会のあり方の検討 ・事務局員の後継者不足の対応



豊郷地区地域ビジョン

発行年月日 平成31年3月

発行者 豊かな郷づくり推進協議会

豊郷地区地域ビジョン策定委員会

事務局：豊郷地区市民センター内

電話 028 - 660 - 2340

印刷所 株式会社 井上総合印刷